令和5年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	05	124070	市有財産適正管理事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		10,424	64,926		54,502
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	1,900	27,300		25,400
	その他	0	21,000		21,000
	一般財源	8,524	16,626		8,102

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	
------	---	-------	--	------	--

部重点施策における目標
3 市有財産の適正な管理を推進する。

事業開始の背景・経緯
○適正な財産の保有量とあり方の検討が求められている。未利用市有財産の売却、貸付を行い、財産収入を増やすとともに維持管理経費の削減が必要である。

事業概要
○公共施設マネジメント計画の推進 3,420千円 公共施設マネジメント計画【基本方針編】の改訂 ○市有財産の最適利用 61,506千円（うち繰越明許費 16,610千円） 未利用市有財産の売却に向けた土地の測量 旧まん福跡地広場の整備 大迫、石鳥谷、東和地域の公共施設解体実施設計 東和田瀬地区の公共施設解体

担当部署	12150000 財務部 契約管財	担当課長	小原 賢史
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
市有財産適正管理事業 64,926千円
1. 公共施設マネジメント計画の推進 3,420千円
(1) 公共施設マネジメント計画推進需用費 54千円
(2) 公共施設マネジメント計画改訂業務 3,366千円 R 4から着手した（債務負担行為）基本方針編の改訂版を策定した。
2. 市有財産の最適利用 61,506千円（うち繰越明許費 16,610千円）
(1) 未利用の市有財産の売却 523千円 ①普通財産の中から、売却可能な財産の選定を行った。 ②売却を行うための事前準備として、土地測量（1件）を行い売却価格を決定した。 ③入札を執行し、5件中1件を売却した。
(2) 普通財産土地の貸付 当年度に利用予定の無い土地の貸付を行った。
(3) 「まん福」跡地広場整備工事 22,068千円 旧まん福跡地の整地等を行い広場として整備した。
(4) 大迫・旧内川目小学校プール、大迫・旧亀ヶ森小学校プール解体実施設計 3,905千円 用途廃止した施設の一部の解体工事にかかる実施設計を行った。
(5) 大迫・旧亀ヶ森振興センター一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬処置業務等 831千円 供用廃止した施設の廃棄物の処理等を行った。
(6) 石鳥谷・旧東北電力石鳥谷出張所解体工事実施設計 2,376千円 用途廃止した施設の解体工事にかかる実施設計を行った。
(7) 東和・旧田瀬湖交流センター解体実施設計 2,475千円 用途廃止した施設の解体工事にかかる実施設計を行った。
(8) 東和・旧浮田保育園解体撤去工実施設計 2,453千円 用途廃止した施設の解体工事にかかる実施設計を行った。
(9) 東和・旧東和いこいの森キャンプ場解体工事 7,174千円 R4に実施設計を行った施設の解体工事等を行った。 ①石綿事前調査業務（追加調査） 358千円 ②解体工事 6,816千円（解体工事は令和6年度へ繰越。令和5年度分は前金払のみ）

令和5年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	05	124070	市有財産適正管理事業費

事業手法の詳細 2					
(10) 東和・旧田瀬小学校(小倉地区)講堂解体工事実施設計 3,091千円 用途廃止した施設の解体工事にかかる実施設計を行った。					
繰越					
(1) 東和・種苗生産供給施設(東和淡水魚栽培センター)解体工事 16,610千円 用途廃止した施設の解体工事を行った。					
【特定財源】					
過疎債 (4) × 100% = 3,905千円 → 1,000千円(調整額)					
過疎債 (7) + (8) + (9) ② × 100% = 11,744千円 ≈ 11,700千円					
過疎債 繰越 (1) × 100% = 16,610千円 → 14,600千円(調整額)					
応援寄付金(花巻・石鳥谷) (3) 19,000千円 + (6) 2,000千円 = 21,000千円					

事業手法の詳細 3					
-----------	--	--	--	--	--

令和5年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	05	124080	庁舎設備等改修事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		39,542	54,791		15,249
財源 内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	18,400	24,300		5,900
	その他	0	18,000		18,000
	一般財源	21,142	12,491		-8,651

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	~
------	---	-------	------	---

部重点施策における目標					
3 市有財産の適正な管理を推進する					

事業開始の背景・経緯					
○庁舎は設備改修等を進め、長寿命化を図る					

事業概要					
○本庁舎設備改修事業 5,115千円 本館 地下厨房改修工事実施設計、受変電設備改修工事等資料作成業務、受変電設備改修工事実施設計、駐輪場移転新設工事実施設計 ○総合支所改修事業 49,676千円 大迫総合支所 空調設備改修工事基本設計、庁舎照明設備LED化修正設計及び改修工事 石鳥谷総合支所 空調設備改修工事基本設計、複合防災盤更新 東和総合支所 電話交換設備更新					

担当部署	12150000 財務部 契約管財	担当課長	小原 賢史
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況			

事業手法の詳細 1			
1. 本庁舎設備改修 5,115千円			
(1) 本庁舎本館地下1階厨房改修工事実施設計業務 902千円 地下1階の厨房を会議室へ改修する工事にかかる実施設計を行った。			
(2) 本庁舎本館受変電設備改修工事等資料作成業務委託 968千円 受変電設備改修工事に係る庁舎の構造等安全性の調査を行った。			
(3) 本庁舎本館受変電設備改修工事実施設計業務 2,090千円 受変電設備改修工事にかかる実施設計を行った。			
(4) 本庁舎駐輪場移転新設工事実施設計 1,155千円 駐輪場の移転新設工事に係る実施設計を行った。			
【特定財源】 緊防(3) × 100% ≒ 2,000千円			
2. 総合支所設備改修 49,676千円			
(1) 大迫総合支所庁舎LED化工事単価更新等修正設計 275千円 R4年度に行った実施設計の修正設計を行った。			
(2) 大迫総合支所庁舎空調設備改修工事基本設計業務 1,672千円 空調設備の改修工事にかかる基本設計を行った。			
(3) 大迫総合支所庁舎照明器具LED化(執務室等)工事 24,563千円 庁舎執務室等の照明器具のLED化を行った。			
(4) 石鳥谷総合支所空調設備改修工事基本設計業務 1,331千円 庁舎空調設備の改修工事にかかる基本設計を行った。			
(5) 石鳥谷総合支所庁舎複合防災盤更新業務 14,245千円 老朽化した庁舎防災盤の更新を行った。			
(6) 東和総合支所電話交換設備更新業務 7,590千円 老朽化した電話交換設備の更新を行った。			
【特定財源】 脱炭素(大迫) (1) + (3) × 90% ≒ 22,354千円 ≒ 22,300千円 応援寄付金(石鳥谷・東和) (5) 12,000千円 + (6) 6,000千円 = 18,000千円			